

第47回九州地区道徳教育研究大会を終えるにあたって（御礼）

第47回九州地区道徳教育研究大会、第39回宮崎県小・中学校道徳教育研究大会を、皆様のお力添えをいただき、無事開催することができました。

Webコンテンツを活用しての開催の試みでしたが、先生方の参会にご配慮いただいた校長先生をはじめ、参会いただいた九州各県の先生方に心から感謝申し上げます。

本大会を閉じるにあたり、3つの御礼を申し上げます。

まずは、本大会を開催するにあたり、授業を提供いただいた小学校3名、中学校3名の先生方、及び課題別分科会において実践研究を提案いただいた先生方に感謝申し上げます。

それぞれに、学年・学級を受け持ち、多様な児童生徒に対応する中で、指導案作成・研究実践を積み重ねながら、本大会実施に向けて取りまとめていく用務は、大変な労力であったことと推察しているところです。

二つ目に、指導助言をしていただきました宮崎県教育委員会義務教育課 指導主事 西川様、南部教育事務所 指導主事 川崎様、宮崎大学大学院 教授 椋木様におかれましては、大会主題を基にした道徳教育の方向性を導いていただくとともに、授業者の指導案作成等においても、大きな示唆をいただきました。

三つ目に、本大会開催を後援・協賛という形で支えていただいたご指導、ご協力いただいた宮崎県教育委員会、宮崎市・延岡市・国富町・美郷町教育委員会、宮崎県市町村教育委員会連合会、宮崎県校長会。公益財団法人上廣倫理財団に対しまして御礼を申し上げます。

コロナ禍の中で、本大会を本県が担当することが決まり、県事務局を中心に開催準備を進めておりましたが、人事異動で担当会長が替わったり、指導案検討会を台風接近のためを中止せざるをえなくなったりするなど、関係の皆様にはご心配やご苦勞をおかけした部分もありました。

Webコンテンツを活用して、各地で道徳教育の推進及び貴重な実践交流の機会に資する大会にしたいという想いが最終案内に記述されていましたが、いかがだったでしょうか。お寄せいただいた感想の中には、ご自分の実践と比較してのご意見や授業者が前向きに実践に活用できるご質問がたくさんありました。また、「通常の授業参観と比べて子どもたちの表情がよく見えた」といった撮影のカメラワークに関するありがたいご指摘もいただいております。

「子どもが『考え』『議論する』道徳教育」は、「学級づくり」「仲間づくり」にもつながる取組であり、日々の授業や先生方の言葉かけ等、様々な仕掛けの積み重ねがあって実現が図られるものではないか、と思いを新たにしたところです。

本大会で得た成果や課題を基に、今後も研究に努めるとともに、九州各県に実践交流の機会が広がることを祈念申し上げ、謝辞といたします。

令和5年11月24日

九州地区小中学校道徳教育研究大会宮崎大会
大会実行委員長 山腰 孝幸（宮崎市立檉北小学校）
原田 浩之（宮崎市立生目中学校）